

「本納駅東地区のまちづくり提言」に対する市の方針

令和4年3月

目 次

- 『レールサイド』における提言と市の方針
.....1
- 『リバーサイド』における提言と市の方針
.....2
- 『ロードサイド』における提言と市の方針
.....3

『レールサイド』における提言と市の方針

	提 言	方 針
1	<p>駅利用者に限らず、近隣住民の買い物場、憩いの場となるような多機能かつ利便性を向上させた駅周辺の整備を実現すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本納駅に連絡橋の設置 ・子育て支援施設、コワーキングスペースの設置 	<p>駅周辺については、自由通路・都市計画道路及び駅前交通広場等が計画されており、一体的な整備が必要だと考えているが、駅利用者や近隣住民の更なる利便性向上のため、子育て支援施設等を駅周辺に設置することの効果検証等やコワーキングスペースの整備に対する補助など実施できるものから検討してまいります。</p>
2	<p>本納の歴史・文化資源を活かした魅力あるまちなみを目指し、良好な景観形成や利便性向上を図りつつまちづくりを行っていくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携して特徴のある木造駅舎化 ・間伐材等の木材を利用した橋樹神社への参道整備 	<p>本納駅西側には、歴史・文化資源が点在しており、それらを保全、継承し、東側についても利便性の向上に配慮しつつ、市民の豊かな心を育む良好な景観づくりに努めてまいります。</p> <p>木材の利用については、森林環境整備に伴い、伐採等で生じた木材について、近隣の事例を参考としつつ、利用促進していきたいと考えております。</p>
3	<p>駅と地域、双方向への交通アクセスを確保し交流人口の増加を図るために、駅前及び駅周辺に対して総合的な整備を行うべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前交通広場の整備 ・駐車場、駐輪場、EV車充電設備の整備 	<p>駅前交通広場や都市計画道路等の整備に努めていく中で、駐車場等について検討し、地域一体としての利便性向上に努めてまいります。</p>

『リバーサイド』における提言と市の方針

	提 言	方 針
1	<p>開発整備が完了するまでは、既存の農地及び遊休農地の有効利用により、当該地区の農業問題の解消を図りながら、農業活性化機能の強化を図っていくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダムの活用 (あやめ、しょうぶ、かきつばた等を植える) ・チャレンジ農園の設置 	<p>農地及び遊休農地については、田んぼダムによる機能強化を図っていくとともに、農業に携われる良い機会となるチャレンジ農園を利用し、農業の活性化につなげてまいります。</p>
2	<p>水路や河川の水を利用し、緑豊かな自然を活かした「花」と「水」と「緑」を組み合わせたまちづくりを計画し、水害時の防災機能を有した施設の整備を実現すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災センターの創設 ・モバリンを利用したマンホールアートの設置 	<p>当該地区では、本納駅東地区地区計画が定められており、良好な居住環境づくりや雨水流出抑制をするために緑化率を定めることで、緑豊かな自然を活かしたまちづくりを推進しております。また、施設整備を行う際に、防災機能に配慮した計画を検討してまいります。</p> <p>モバリンを利用したマンホール蓋の設置については、市のPRにもなることから、当該地区を下水道整備する場合は、検討したいと考えております。</p>
3	<p>河川沿いに植物を植え景観形成の推進を行うと共に、地域のコミュニティ形成の場となるように、河川の整備を計画的に進めていくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生植物を利用したビオトープの設置 ・緑豊で健康づくりができる公園や歩道の整備 	<p>河川整備については、防災を優先とした計画で実施しているため、植栽は困難であるが、自然と人々が触れ合う機会が減少している中で、安全に楽しみながら利用できる公園等を核とした景観やコミュニティ形成の場を創出できるよう公園整備の中で検討してまいります。</p>

『ロードサイド』における提言と市の方針

	提 言	方 針
1	<p>地域の活性化及び雇用の創出を促進するために、国道沿線の利便性を活かし、民間の活力が発揮できるよう考慮した土地利用計画を策定すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途地域の変更 ・地区計画の見直し 	<p>地元住民の合意形成に基づいて、茂原市都市計画マスタープランとの整合を図るとともに、土地の有効利用ができるよう、民間企業の動向を踏まえた用途地域や地区計画の見直しを検討してまいります。</p>
2	<p>地域の拠点である既存の農産物直売所を整備・拡充し、国道沿いの購買需要の増加、利便性向上を目指していくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所の道の駅化 ・農産物直売所の拡充 (農家レストラン、ショッピングセンター化) 	<p>地域に密着した地元農産物の直売所として、更なる充実化を進めるとともに、本納地区の一つのランドマークとして、市外からの来場者に認知されるように、新たな商品の開発等の新規事業を計画し、情報発信してまいります。</p>
3	<p>幅広い業種が参入しやすい環境とするために、既存の業種を含んだ地域一帯としての整備ができるように計画していくべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなエリアで巡回バスを運行 ・レンタルサイクル等を活用できるような整備 	<p>地域一帯の整備を促進するためには、円滑なアクセスが必要であることから、市民及び利用者ニーズに応じて、コンパクトな巡回バスやレンタルサイクルなどの様々な選択肢を含め、検討してまいります。</p>